

学長に河田梯一 文学部教授



河田梯一学長の履歴

昭和20年京都生まれ。昭和43年大阪外国語大学中国語学科卒業、昭和47年大阪外国語大学大学院文学研究科博士課程所定単位修得後退学。昭和47年和歌山大学助手、助教を経て、昭和61年関西大学文学部教授。平成5年4月国際交流センター所長、平成10年10月文学部長、平成13年4月副学長。平成15年10月から関西大学学長・理事を、平成16年1月から(社)日本私立大学連盟常務理事を務める。専門は、中国思想史。

河田教授、第三十九代学長に再選

今回の学長選挙については、まず五月十七日に、各学部長、外国語教育研究機構長、法務研究科長および会計研究科長が選挙管理委員となつて、学長選挙管理委員会が構成された。

続いて、六月七日に学長 永田眞三郎 八八八票、選挙日程が発表され、六月 除斥投票の結果は、十四日に教職員、事務職員、選挙委員による選挙管理委員会が構成された。



神輿の法則

「神輿の法則」という言葉がある。お神輿というのは、ふだんは担ぎ手の三分の一が汗をかきながら担いでいるふりをし、残り三分の一はふらふらと担いでいる人によって、バランスを取るのが特徴であるといえる。平坦な道では、お神輿はこれでも前進することができ、たゞさが上り坂になると、お神輿はこたえがたくなる。

河田学長再選に寄す

現在、さかかかっている急な上り坂は、少子化、大企業、自由競争、第三者などによって組織体の浮沈が決まってくる。開大をお神輿にたとえるならば、お神輿がこたえがたくなるのは、担ぎ手がこたえがたくなるからである。お神輿がこたえがたくなるのは、担ぎ手がこたえがたくなるからである。

河田学長再選に寄す

河田学長再選に寄す

河田学長再選に寄す

新役職者決まる

新しく大学の役職者が決まり、10月1日付で次のとおり発令された。

Table listing new appointments across various departments including Faculty, Administration, and Research.

HEADLINE section with a grid of numbers and text: 12, 9, 5, 4, 2, 3, 8, 3, 面, 面, 面, 面. Text includes '新役職者紹介' and 'ドイットの2校と交換協定'.

本学と地域社会をつなぐ... 窓口に明確にし、地域との連携事業を総合大学の名にふさわしい形に拡充していく。本年四月、社会連携推進本部のもとに地域連携センターが設立された。地域連携センター設立以来、毎月一つのシンポジウムを開催してきた。テーマは「飛鳥川の環境」「安全・安心・格差社会に関するもの」で、多くの参加者を得て情報発信として成功した。しかし、これから実際の連携事業をいかに継続していくかが大切だと考える。多くの参加者の陰には、シンポジウムに協力していただいた教員、広報活動に走り回っていたいただいた職員の方がある。今後さらに連携事業を推進していくためには、さらに多くの方々の協力が必要不可欠で、協力者を増やしていく仕組みが必要だと考える。これらのシンポジウムを通して、地域住民の方々が講演に熱心に耳を傾け、ディスカッションに積極的に参加する姿があり胸をなでた。今後は、本学の学生たちが、地域住民の方々とともに、もっと積極的に参加できる連携事業や仕組みを創る必要があると感じた。(広報 道幸)

世の中であらゆるものを取り扱ってきた人といふ者に、さうざらにはお目にかかることがない。高い知性と柔軟な性格、博識に裏付けられた高度な断力・意思決定力とのスピード、卓越した情報処理能力と研ぎ澄まされた感性。そんな人は、いらない、と疑う人は一度副学長のドアを叩いてほしい。柔和な笑顔の芝井敬司副学長の出迎へがある。スポーツマン能く、大変よく通る。自宅で多岐な興味(大学教授)に代わってお嬢様のために

安部誠治商学部教授は大阪国立大学大学院(経営学研究科)の出身で、母校で助手、専任講師、助教授を務めた後、平成五年に本学商学部にて助教授として招聘された。翌六年に教授に昇進した。今後、将来構想計画委員会委員長、国際交流センター所長、商学部部長代理などの要職を歴任した。とくに国際交流センターに五十年の協定校をつくるというGlobalizing Kandai構想の実現のために尽力した。



安部 誠治 副学長
社会に向けて積極的な発言

公企業論、非営利組織担当の教授は、公益事業や交通学会などに所属し、多くのアカデミックな業績を残しており、公益事業委員会において副会長の重責を担っている。海外の研究機関や大学とのネットワークも広い。また、ネットワーキングもまた、交通の安全性や公共性の問題について社会に向けて積極的に発言し、マスコミにもしばしば登場して、辛口の論評を続けている。

学生部長、工学部長を歴任してきた越智光一工学部教授がこの度、大学院研究推進担当の副学長に就任することになった。専門は高分子材料であるが、特にエポキシ樹脂の権威として知られ、高性能電気絶縁材料の創成において独自の高い成果をあげている。日本接着学会副会長。



越智 光一 副学長
研究力の高い推進者

強い関心、をキーンチフレスにして、近年本学においては教育・研究・スポーツ等の多方面からの見直しが行われ、その強化

食事を作ったりもせず。専門は西洋近代史(博士)(文学)。歴史学の歴史という「メタ」レベルの関心と、大英銀行の書籍に入っていたリジナル資料を読み漁る姿勢は、学内行政の手腕に通じる。

一期四年間の学部長在任中、強力なリーダーシップで、学課・多専修制への移行、社会連携推進等数々の実績をあげた。その前の学内での各種委員会委員などの経歴を通して、副学長になるべくしてなった人材である。



芝井 敬司 副学長
強力なリーダーシップ

新 役 職 者 紹 介

真摯に物事にとりくむ、というのが高瀬先生への的確な評である。温厚、麗美な性格にプラスして文武両道。学生時代の剣道の三段の腕前である。東京大学の宮本健一門下の俊英として、マックス・ウェバーの論議について学術的な論文を発表して以来、日本企業内の人間関係への関心から組織論をベースに企業組織、産業社会の研究を進め、組織学会理事、シニア・エディター等を歴任してきた。最近では、地域活性化など



高瀬 武典 通長
共学推進機構長

大学全入時代を迎え、他大との競争的環境のもと、なお質の高い教育を提供し、かつ研究の充実をはかるという厳しい状況にあつて、法学部においても、より一層の改革が求められている。

そうしたなか、新学部長に就任した教授は、関西大学から学部、大学院へと進んだ生え抜きの教授であり、関西大学を愛する、と誰にも引けをとらない。教授の熱切丁寧な授業には定評があり、面倒見のよさから学生の人気も高い学部



市原 靖久 法学部長
パワーあふれる手腕

この数年、文学部は矢張り改革を打ち出し大きく変貌を遂げたが、改革の推進者であるとして自らを解者として、自らに課せられた責任をしっかりと背負ってきた。純粋な学部長である。来た二年は改革路線を継承しつつも、その検証・点検と歩を進める時、これまでの経路に立って、予想外の



奥 純 文学部長
「明るさ」という武器あり

「何よりも「明るさ」という武器がある。研究対象であるフ

このたびは経済学部が、北川勝彦教授が就任した。北川教授は本学経済学部および大学院経済学研究所の出身で、平成七年に経済学部へ着任。専攻はイギリス帝国経済史で、日本における西部アフリカ経済史研究の第一人者として国際的にも知られ、著書も数冊を著している。



北川 勝彦 経済学部長
改革への強靱な意志

今年九月まで国際交流センター所長を務めた教授は、豊富な海外経験に裏打ちされた国際感覚をもつて、海外交流大学の拡大と充実

廣瀬新学部長は、「謙虚な」で有名。ただし、今日ではほとんど用いられない。なま川原出身。昭和六十六年母校高知大学の助教授から、本学商学部の経営管理論担当の助教授として迎えた。平成六年教授に昇格した。この人事には結構であった。実は廣瀬氏は、東京の某有名大学に転籍することが九十パーセント以上の確率で内定していたにも拘らず、この内職が大阪出身から、「先生は関西大学に来るべきだ」と口説いたのである。今だから、暴露



廣瀬 幹好 商学部長
粘り腰が強く、厚い人望

してこの話も許されよう。廣瀬氏は講義に力を入れている。自分には他に他の人々へは優しく、ゆえに人望が厚い。細身に拘らず粘り腰が強く、文字通り、よい意味での「柳下折れな」の典型のような人物である。



黒田 勇 社会学部長
豊かな人的ネットワークを駆使

操の「社会学」は高い評価を得ている。現在はとりわけスポーツ

総合情報学部の創設時に、若手大卒から就任した。そして平成十年に開催した総合情報学部の完成年度ならびに大学院総合情報学研究科開設を記念した国際シンポジウムでは実行委員長として手腕を発揮した。情報に関する諸分野におけるこれまでの進歩はめざましいものがあり、現在もなお日々進歩し続けている。こうした情報学の成果を教育に活かすには大きな困難が伴う。さらに、これを「総合」する学問体系としての総合



木谷 晋市 総合情報学部長
温厚で誠実、厚い信望

強い支持を得ての再選である。来年度より、工学部はシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部に三学部に分かれ、本学は、四月より改組された。これらの実績を踏まえて、さらに、新学部体制への難しい新取組の適任者としての支持である。

土戸哲明教授は、平成二年、大阪大学から本学に着任した。温厚で実直な人柄で、学会の理事や支部長を務めるなど、学外での人望も



土戸 哲明 工学部長
難しい舵取り役の適任者

味の毎日を送った。いつも情熱のこもった話し方、永遠の文学青年にも見えるが、本学赴任後、合計四回にも及び学内移籍を経験した苦労人である。そのぶん、同僚や学生への思いやりも人一倍強い。学内でさまざまな体験を重ねるうちに、外国語教育、そして人間教育の大切さを痛感したとのこと。



宇佐見太市 外国語教育研究機構長
情熱、思いやりは人一倍

雑誌の編集にも携わり、文学三

点、としたいという思いは、ますます募っているようである。

新しく学生センター所長に就任した教授は、京都大経済学部・同大学院経済学研究科を修了し、山口大学経済学部を経て本学商学部に着任した。

専門は国際貿易論・日本貿易論である。教授は現在商学部所属し、来年四月には新設される政策創造学部に移籍する予定である。新学部では日本と特に関わりが深いアジアを中心に、国際社会の現実の姿を深く探求すべく新しい教育が行われると聞いている。教授の深い学識と裏



奥 和義 学生センター所長

打ちされた行動力も、新学部で抜群の成果を為すと思われる。奥教授といえは保健体育委員会委員長として体育会の最重点クラブの選定に関する答申を纏め上げられた卓越した調整能力が思い出される。

その教授にアサインされたの舵取りをお願すること。最善の選手である。学生時代からバドミントンを無二の趣味とし、今でも社会人の大会に選手として出場しているという。まさに真打ちの登場といえよう。

本学の要職を歴任し、経済学部の重鎮でもある加勢田博教授が、情熱深い大学入試において入試センター所長に着任したことは、まさに適所に人材をえたと見える。

教授は、本学の大学院で西洋経済史を学んだ後、今日にいたるまで北米経済史の研究に研鑽してきた。本学の助手、専任講師、助教を経て、昭和五十七年に教授に就任。平成六年十月から二年間経済学部長、平成十一年四月から平成十二年九月まで



加勢田 博 入試センター所長

入試試験部長、平成十五年十月から三年間副学長を歴任している。このように試験豊富な教授が入試センター所長に、本学の内部における入試システムの整備と競争の著しく激しい入試情勢に対する長期的視野が期待されたい。教授は、困難な事態を打開すべく、沈着な冷静な判断力が必要とされるからこそ、もっとも実力を発揮する人物である。教授は必ずや多くの入試の期待に応えてくれるであろう。

京都鴨川の産湯を使った生粋の京都人で、柔和な物腰と穏やかな笑み常にと絶やさない魅力的な人柄である。本学工部部の出身で、専門は機械工の精密加工工で切削・研削・研磨加工からバリテック・ロジックからDLC(ダイヤモンド)・薄膜膜を工具にコティングする技術開発へと、砥粒加工の研究を展開し、砥粒加工学会、精密工学会から賞を幾度も受賞している。

このように機械工部加工技術では大きな学術的成果を上げ、現



北嶋 弘一 キャリアセンター所長

在、砥粒加工学会会長として活躍している。一方、企業との共同研究においても活発に取り組んで、産学連携に力を取り組んできた。これが企業と大学の関係は就職だけに留まらず、インターンシップ、広義の人の交流、共同研究、技術情報交換を活発に行い日本の将来技術を開拓する者養成、日本の技術力強化に貢献できる関係を築くべきである。おりしも、企業にも知名度の高い北嶋弘一先生がキャリアセンター所長に就任したことは心強いばかりである。

新 役 職 者 紹 介

本学法学部および法学研究科で学んだ後、昭和五十年に本学助手となり、昭和六十二年に教授に就任。

専門は日本法制度で、中世から近代の日本法の諸相について、さまざまな史料を用いながら実証的に解明してきた。最近では、紀州藩の半番頭家に遺されたおよそ百五十年にわたる御用記録である「紀州藩半番頭家文書」の編纂に携わるとともに、本学の創立者である児島惟謙や、児島の盟友である本学の創立にあたっても援助



市川 訓敏 図書館長

を惜しまなかつた土居通夫についての研究を進めている。本学史編集委員会の委員長を務める歴史家である。大図書館長は何より志士の熱意と教員の研究活動の拠点であり、この面での機能の充実が一層必要とされることは論を俟たない。しかし、同時に、大学の社会貢献の一環として、高校生や市民などへの幅広いサービスを提供しようとする。温厚篤実な教授は、粘り強く諸問題に取り組んでいくであろう。

学内での国際化の流れが加速しつつある時に、カイト由利子国際語学教育研究機構教授として、最大の適任者が交流の窓口として国際交流センター所長に抜擢された。学生をひきつけるその授業は名人技であり、人柄には接する人の気持ちに豊かにさせられるものが溢れている。生粋の日本人でありながら英語の運用についてはネイティブそのものである。神戸にあるカネコエアン・アカデミー(国際学校)の副学



カイト由利子 国際交流センター所長

園長先生がご主人であることではおろそかにしてはならない。題研究班にも種を置き、近年はこの分野での発表も多い。これを踏まえて全面的な人権教育論の構築に向けた取り組みである。学外でも豊中市と同和野解決促進協議会会長や滋賀県米原市の人権行政の役割を務めるなど、部活解放のための自治体の活動に積極的に関わっていることを紹介しておいた。昭和十三年韓国(ソウル)で生まれ、幼少時の体験もその後の仕事の決定的な要因となっているに相違ない。



田中 和和 人権問題研究室長

知らない人のために取ってあげておくが、人権問題研究室生え抜きの人である。念のため、人権問題研究室が部活問題研究室として創設されたのが昭和四十九年四月であるから、四十九年余にわたって研究室の中心的存在であったと言える。部活解放教育を専攻とする教育者で、解放教育論(拓殖書房)などに示されるように備に衣を着せぬ率直な問題提起が、人権問題研究室では女性問

推測するに、学長からのたゞの依頼による統括であろう。それも無難はない。かつて永来雅名教授が考古学等資料室として創設。その後、細川善名善教授が継承した関西大学博物館を、二期四年半の間に、文字通り、ユニバーシティ・ミュージアムとして再生させた。この間、企画展「関西大学博物館の名称」大阪の商家と引けの開催を指導し、今春には創立百二十周年記念事業、なわ、大阪文化遺産学研究所センター棟竣工



高橋 隆博 博物館長

記念として特別展「インカへの道を開く 三十五百の見学者を集めた。また、関コレクションや東洋陶磁器の収集など、所蔵資料の充実も著しい。その手腕は、や余人の追隨を許さぬといふほかない。

しかも、平成十七年度から始まった「フロンティア」手事業、なわ、大阪文化遺産学研究所センターは、今年で研究期間五年のほぼ中間年にあたり、これからが正念場である。就任に思いがあつたと思われ。

学位取得

学位記授与式が、九月十九日に千里キャンパス百周年記念会館で行われ、次の十九日に関西大学が学位を授与された。被授与者の学位および博士論文名は次のとおり。

- 〔課程博士 八人〕
- 「本 幸平 / 博士(文学)」
- 「丸 謙二 / 博士(文学)」
- 「小 崇道 / 博士(文学)」
- 「伊 啓子 / 博士(文学)」
- 「19世紀の西洋人による中国語文法研究史」
- 「論文博士 十一人」
- 「藤 道 / 博士(文学)」
- 「日本近代思想のシリアの意義」
- 「阪本 敏行 / 博士(文学)」
- 「熊野 三山と熊野別当」
- 「論文博士 十一人」
- 「十 崇道 / 博士(文学)」
- 「日本人EFL学習者の発話と音声の特徴 心理言語学の観点から」
- 「山根 繁 / 博士(外国語教育)」
- 「吉田 友之 / 博士(商学)」
- 「トートラムスの使用動向に関する実証研究」
- 「水野 由多加 / 博士(商学)」
- 「統合広告論 実践秩序へのアプローチ」
- 「赤松 猛史 / 博士(工学)」
- 「超硬小径ボールエンドミルによる深彫り加工に関する研究」
- 「定義 / 博士(工学)」
- 「VLSIの物理設計の自動化に関する研究」

閉りポシトリの構築・運用を推進する事業である。

マレーシアと協定を締結

マレーシア科学大学およびロンドンポシトリアの協定を締結

マレーシアのマレーシア科学大学と本学の間に国際交流計画に関する基本協定および学部、大学院レベルでのマレーシア科学大学との学生交換に関する協定。また、スリランカのロンドンポシトリアの間に国際交流計画に関する基本協定を締結する。これにより、協定大学は三十三校となり、協定同構築事業に託事業に採択

市の有名なランドマークにもなっている。

日本オプティクスエアー・コンピュータ(JOCW)に会

本学は、教育活動で得られた知的資産を学内外に公開するために「教えと学びのショーケース」を開設する。この度、この教育のオープン化を推進するため、日本オプティクスエアー・コンピュータ(JOCW)に会し、日本オプティクスエアー・コンピュータ(JOCW)は、高等教育機関において正規に提供された講義および関連情報を「データベース」に公開する。本学は、約一万人の学生を擁するスリランカで最も古い大学であり、大学の運営の拠点となつて

大学 トピックス

次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業に採択

本学が採択した「KURボジトリ(仮称)」が国立情報学研究所による次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業に採択された。機関りボジトリ構築・運用事業の領域において、採択された。機関りボジトリ構築・運用事業とは、大学からの情報発信力を強化し、大学幼少時の体験もその後の仕事の決定的な要因となっているに相違ない。

推測するに、学長からのたゞの依頼による統括であろう。それも無難はない。かつて永来雅名教授が考古学等資料室として創設。その後、細川善名善教授が継承した関西大学博物館を、二期四年半の間に、文字通り、ユニバーシティ・ミュージアムとして再生させた。この間、企画展「関西大学博物館の名称」大阪の商家と引けの開催を指導し、今春には創立百二十周年記念事業、なわ、大阪文化遺産学研究所センター棟竣工

「中国古代理問題史研究」

「川神 博弘 / 博士(文学)」

「サルトルの文学 倫理と芸術のはざまを委する難曲」

「尾崎 公子 / 博士(文学)」

「高等教育導入期における教員管理政策の研究」

「品行」

「規範に背目して」

「牧野 由香里 / 博士(文学)」

「議論のデザイン」

「メキシコとメソアメリカをめぐり」

「吉田 友之 / 博士(商学)」

「トートラムスの使用動向に関する実証研究」

「水野 由多加 / 博士(商学)」

「統合広告論 実践秩序へのアプローチ」

「赤松 猛史 / 博士(工学)」

「超硬小径ボールエンドミルによる深彫り加工に関する研究」

「定義 / 博士(工学)」

「VLSIの物理設計の自動化に関する研究」

「山根 繁 / 博士(外国語教育)」

「吉田 友之 / 博士(商学)」

「トートラムスの使用動向に関する実証研究」

「水野 由多加 / 博士(商学)」

「統合広告論 実践秩序へのアプローチ」

「赤松 猛史 / 博士(工学)」

「超硬小径ボールエンドミルによる深彫り加工に関する研究」

「定義 / 博士(工学)」

「VLSIの物理設計の自動化に関する研究」

ドイツの 2 校と交換協定

毎年、各 2 人枠で派遣

このたび、本学はドイツのケルン大学およびコンスタンツ大学との間に生交換協定を締結した。ケルン大学は本学にとって二十九番目、コンスタンツ大学は二十番目の協定大学となる。ドイツ国内の協定大学は、すでに協定を結んでいるケッティンゲン大学を含めて三校となる。



ケルン大学

ケルン大学は、二一八八年に創立されたドイツで二番目に古い大学で、研究分野の業績が優れた四大学の一角に数えられている。遣送研究においては二つの特別研究センターが存在し、その他にも物理の分野において二つの特別研究センターがある。学生の内訳は、学部学生約五万人、大学院生約四千四百人、留学生約六千二百人となっている。同大学の新しい試みの一つには法科生のための四年制の英語・ドイツ語兼用カリキュラムがあり、ロンドン大学ユニバーシティ

14世紀創立のケルン大 新進のコンスタンツ大

英語指導力開発 ワークショップ

(第一フェイズ)

成功裏に 終わる

八月二十一日から二十六日までの六日間、文部科学省の委嘱を受けて本学で開催された、英語指導力開発ワークショップ(第一フェイズ)が成功裏に終わった。参加者は、将来指導的な役割を担うことが期待されている中学・高校の英語教員三十人。最初の四日間は千里山キャンパス若崎記念館において通学形式で残り二日間は高槻キャンパス高岳館において合宿形式で実施された。初日は、参加者の顔も緊張と不安

を覚えていたが、最終日には、達成感と満足感で満ちあふれていたほど、きわめて有意義な研修会であった。このワークショップは、昨年度に引き続き、大学院外国語教育研究科が競争的資金として文部科学省から獲得したものであり、研究科の教員と現場の連入教員が講師となり、ワークショップ形式で参加者の指導力向上をめざすことが目的となっている。また、教員の卵である同研究科の学

大学院学内進学試験の合格発表

2007(平成19)年度大学院(法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、工学、外国語教育学および会計研究科)の学内進学試験を実施した。

2007(平成19)年度 大学院学内進学試験結果

研究科	専攻	コース・専修・分野	定員	志願者数	合格者数
法学	法学・政治学	法政研究コース	60	3	3
		企業法務コース		0	0
		公共政策コース		0	0
計			60	3	3
文学	総合人文学	英文学専修	108	5	5
		英米文化専修		3	3
		国文学専修		6	6
		哲学専修		6	2
		芸術学美術史専修		2	2
		日本史学専修		12	9
		西洋史学・アジア史学専修		3	3
		ドイツ文学専修		1	1
		フランス文学専修		2	2
		中国文学専修		3	3
		地理学専修		2	2
		教育学専修		0	0
		心理学専修		7	4
計			108	52	42
経済学	経済学	プロジェクトコース	50	4	4
		アカデミックコース		0	0
		計		50	4
商学	商学	研究者コース	30	1	1
		専門職コース		7	7
		計		35	8
社会学	社会学	社会学	10	1	1
		産業社会学		2	2
		社会心理学		10	12
		社会文化学		10	3
		計		40	27
総合情報学	総合情報学	社会情報学	40	6	6
		知能情報学		4	14
計			80	20	20
工学	システムデザイン	応用自然科学分野(数学系)	125	0	0
		応用自然科学分野(物理・応用物理学系)		35	34
		機械工学分野		20	20
		先端情報電気工学分野		21	21
		電子情報システム工学分野		12	12
		システムマネジメント工学分野		15	15
		都市環境工学分野		15	15
		建築学分野		1	1
		化学工学分野		18	18
		応用化学分野		34	34
		先端マテリアル工学分野		13	13
		生命・生物工学分野		12	12
計			275	181	180
外国語教育学	外国語教育学	外国語教育学	25	6	4
		計		25	6
会計	会計人養成	会計人養成	70	4	4
		計		70	4
合計			743	305	280

優秀な成績で修了した者には、研究科から大学院の単位(単位数・入学時に有効)が与えられる。(前外国語教育研究科長 竹内 理)



学際的研究の 迫力を示す

東京国際会議を開催

第四回ソシオネットワーキング戦略研究会が、平成十八年九月一日に東京都千代田区丸の内にある京工業大学(以下、京工大)で開催された。午前の研究会は英語を用いて開催され、ソシオネットワーキング戦略研究会の共同研究員二人の報告があった。午後の基調講演と討論は日英同時通訳つきで行われ、

日米欧の大学教授、中央省庁幹部などの有識者四十五人の参加を得た。基調講演者は、イアン・フォスター(シカゴ大学教授、ジョン・ゼイスマン(UCLA)教授、鶴岡康東(総合情報学部教授)であった。本会議は、関西大学の歴史上はじめて東京都心で開催された。本学の学際的意義の深さを示し、参加者に深い感銘を与えた。(総合情報学部教授 鶴岡 康東)

イ・カッジと共同で提供している。また、日本学科を有しているのも特徴である。一方、コンスタンツ大学は、スイスの環境にあるポテン湖に面した小さな町にある。有名な社会学者ラルフ・ダーレンドルフが協力して、一九六六年に創立されたこの大学は、ドイツの全の中でも比較的に新しく、革新的な研究・指導方法を取り入れている。二〇〇一年には大学図書館が二十四時間開いている。今回の学生交換協定の締結により、両大学とは、そ

第2学舎1号館1階に 教務センターが開設



九月二十一日、学生への修学上の支援業務を一元化した教務センターが第2学舎1号館1階に開設された。教務センターは本学創立百二十周年を機に、大学改革の一環として、千里山キャンパス内の学生および大学院生約二万八千人、教員

れぞれ毎年二人枠で派遣を行うことになる。十月六日(月)まで、平成十九年度交換派遣留学生の募集を行っている。両大学への留学を希望する人は、早い段階に入学手続きを済ませたい。今後さらに、本学の国際交流に関する新構想に基づき、平成二十一年までに目標の五十校をめざして、世界各国に協定大学を増やしていく。世界に向けて学術交流ネットワークを拡大していく。(国際交流センター)

「トップシニア企業の 経営戦略講座」を開講

本学では、近畿経済産業局と連携して「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」(平成十八年四月十一日経済産業省発表)の近畿選定企業六十四社の中から経営者を講師に三学舎で実施。社会学部生引き、経営戦略や技術マネジメント等の取り組みを講

約千人を対象に、全共通の質向上を推進していきたくて考えているので、不明な点や気付いたことがあれば、遠慮なく申し出てもらいたい。(教務センター)

学部・外国語教育研究機構・ 大学院における執行部体制 の変更についてのお知らせ

本学では、学部および外国語教育研究機構と大学院の各研究科を一体的に運用し、学部教育と大学院教育が一貫性をもちて運営されるよう、本年十月から学部長、外国語教育研究機構長、関連の各研究科を兼任することになりました。これに伴いそれぞれの組織の運営をリードする執行部長を兼任し、次のように変更するようになりました。

- ① 学部長・外国語教育研究機構長が大学院研究科長を兼任します(専門職大学院を除く)
- ② 副学部長(これまでの学部長代理)を二人に増員(政策創造学部を除く)
- ③ 専門職大学院の法務研究科・会計研究科は、「研究科長代理」を、「副研究科長」と改称します。
- ④ 外国語教育研究機構では、「機構主任」を、「教務主任」に改称します。
- ⑤ 学部は、平成十九年四月からシステム工学部・環境都市工学部・化学生命工学部に再編されますが、それぞれの学部長のうち一人が工学研究科長を兼任します。(学長課)

祝 創立120周年

平成18年11月4日 関西大学創立120周年に寄せて

関西大学が、関西初の法律学校として明治19年（1886年）に、大阪西区の願宗寺に開校してから120年。明治22年に17人の卒業生をはじめ世に送り出した時から今日までに約30万人余の校友を輩出し、3万人を超える学生・生徒等を擁する総合学園として発展を遂げてきた。また、来る平成19年4月には、5館新造学棟、システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部を揃えて10学部として新たなスタートをきる。

今回の「創立120周年記念特集」では、理事長、学長をはじめ、常務理事、校務推進委員会委員長、校友会会長、また、第一高等学校、第一中学校校長、第一高等学校教員組合会長、第一中学校PTA会長から、この創立120周年を記念する特別に、関西大学のさらなる発展を期するメッセージを公開している。



関西大学120年のあゆみ

1886年 (明治19)	関西法律学校として大阪西区の願宗寺に開校。 法学者ボアソナード博士の薫陶を受けた司法官の小倉久、鶴見守義、井上操らが吉田一七七として設立。
1904年 (明治37)	経済学科を増設
1905年 (明治38)	「私立関西大学」と改称。大文科、大文科科および専門科(いずれも法律・経済の二学科)を設置
1906年 (明治39)	商業学科を増設し、北区上福島に福島学舎を建設し、移転
1922年 (大正11)	千里山に学舎を新設。法学部と商学部の一学部を持つ大学として認可され、関西大学学歌も制定
1929年 (昭和4)	大淀区長柄に天六学舎を新設。専門部をここに移転
1947年 (昭和22)	第一中学校を開校。関大ルネッサンス宣言。戦後の混乱期の中、岩崎卯一学長が大学再建の指導理念を提唱
1948年 (昭和23)	新制大学に移行。法文・経済・商の四学部男女共学。第一部、第二部を備える総合大学に、第一高等学校を開校
1950年 (昭和25)	新制大学院を設置
1951年 (昭和26)	幼稚園を開園
1953年 (昭和28)	第二部の全学部を天六学舎へ移転。第一高等学校を天六学舎から千里山学舎へ移転
1957年 (昭和32)	第一中学校を天六学舎から千里山学舎へ移転
1958年 (昭和33)	工学部を設置
1967年 (昭和42)	社会学部を設置
1982年 (昭和57)	情報処理センター(平成16年にインフォメーションテクノロジセンターと改称)を開設
1985年 (昭和60)	総合図書館を開館
1986年 (昭和61)	創立百周年記念式典。大阪城ホールに二万三千人が集結
1989年 (平成元)	国際交流センターを開設。学生国際交流館、秀麗寮を建設。百周年記念会館が竣工
1992年 (平成4)	百周年記念セミナーハウス・高岳館が竣工
1994年 (平成6)	総合情報学部を設置。関西大学博物館を開館。第二部が天六キャンパスから千里山キャンパスへ移転
1997年 (平成9)	エクスプレッション・リトリートセンターを開設
2000年 (平成12)	外国語教育研究機構を設置。尚文館が竣工
2001年 (平成13)	児島惟謙館が竣工
2003年 (平成15)	関西大学東京センターを開設
2004年 (平成16)	法科大学院を設置。S・P・S・I・N・E・Tの運用開始
2006年 (平成18)	総合学生会館、メディアパーク、凧風館が竣工。会計専門職大学院を設置。関西大学アイヌアリーナが竣工。 十一月四日、創立百二十周年記念式典

関西大学創立120周年に寄せて

「たぐいなき 此の学園」とともに



理事長 森本靖一郎

百二十年という 時の流れ

いよいよ記念式典が押し寄せ、改めて百二十年の歴史を振り返る。昭和三十一年に竣工された第一学舎(第一号館)が、その歴史を物語る。創立百二十年記念式典が行われている。同日式典では、第一号館の歴史を物語る。創立百二十年記念式典が行われている。同日式典では、第一号館の歴史を物語る。創立百二十年記念式典が行われている。同日式典では、第一号館の歴史を物語る。

成長する関大

大阪西京町野の順宗寺で開校した関西大学。創立百二十年を迎える。昭和十一年に五十周年式典が行われた。その前年である昭和九年には、当時の学長が誕生した。当時の学長の講演は、「教育刷新の急務」が語られていた。また、七十周年の頃は、

品格と存在感ある大学を



学長 河田 悌一

平成十八年(二〇〇六)年十一月四日、わが関西大学は創立百二十年を迎える。日本の高等教育のなかで、本学は特別な位置を占めている。明治十九年(一八八六年)、近代国家の成長と普及を目的に、関西法律学校として本学が創立された。世紀の二十年、星野の「ついで」が、まさにその感慨を深くする。

関大のさらなる飛躍に向けて



常務理事 上原 洋允

本学が本年創立百二十年を迎える。創立百二十年の歴史を振り返る。昭和三十一年に竣工された第一学舎(第一号館)が、その歴史を物語る。創立百二十年記念式典が行われている。同日式典では、第一号館の歴史を物語る。創立百二十年記念式典が行われている。同日式典では、第一号館の歴史を物語る。

創立者たちの気概に思いを致す



常務理事 池内 啓三

先般、法政部の山野史教授が古書から発見された「関西法律学校規程」の三編が明らかになった。これは、創立者たちの熱い思いが込められたものである。この規程は、創立者たちの熱い思いが込められたものである。この規程は、創立者たちの熱い思いが込められたものである。

先人の尊い遺産を次代の担い手に託す



教育後援会会長 畑 守人

「今の日本は自分の権利を法律で守ることを知らない。諸君は司法官になっても、法律で守ることを知らない。諸君は司法官になっても、法律で守ることを知らない。諸君は司法官になっても、法律で守ることを知らない。」

「学の実化」の歩みを誇りに思います



校友会会長 一軸 浩幸

母校関西大学が創立百二十年を迎える。創立百二十年の歴史を振り返る。昭和三十一年に竣工された第一学舎(第一号館)が、その歴史を物語る。創立百二十年記念式典が行われている。同日式典では、第一号館の歴史を物語る。

The 120th anniversary ISSUE

2006

人間力、学習力の育成が第一



関西大学第一高等学校・第一中学校校長 石田 晋一

理事長が百二十年とは一度目の壮年期に本校の前身である関西甲種商業学校が創設されたことによる。そして、二度目の人生の出



関西大学第一高等学校教育後援会会長 石田 高雄

本年、月、総学生生会館メディアパーク 凜風館の竣工式に出席しました。一階は、広いオープンスペースに巨大スクリーンや多数の情報端末設備があり、まさにメディアパークであると感じました。



関西大学第一中学校PTA会長 深井 喜久

この度、関西大学が創立百二十年を迎えられる慶事にあたり、第一中学校PTAを代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。

高尚なる理念、永遠に

百二十年を振り返ると、時の重みを誇りに思う。先達のお陰で現在の関西大学が存在します。さらには、我々の使命は、その伝統を次世代に継承すること、その更なる発展でありま

おめでとうそしてありがとう

創立120周年記念式典を祝う!

創立120周年記念イベントの開催

会場は全て千里山キャンパス

Table with event details including dates, times, and locations for the 120th anniversary events.

簡文館に「年史資料展示室」が完成



平成十八年十月、簡文館の中に、年史資料展示室が完成する。これまで大学の歴史に関する資料は、新関西大学会館南棟一階のインフォメーションで展示されていたが、かねてから独立した展示室を設ける必要性が説かれており、平成十八年四月に東西学術研究所が児童性謙館へ移転したことが、その空きスペースを活用して設置されることになった。簡文館の一階には、ななほ・大阪文化遺産学研究所センターが、一階に「関西大学博物館」が設けられ、十月五日(日)の校友総会から始まる、本学歴史をいくかの時代に区分し、映像モニターや写真パネルなどを用いて視覚的に訴える展示を行うので、ぜひ展示室に足を運んでほしい。(年史編集室)

シニアと大学の連携重視



B I Gホール100に400人

文学部では、九月十一日、十三時半から十七時過ぎまで、BIGホール100で、約四百人の参加者を得て、「カレッジ型シニア住居」創設記念シンポジウムを開催した。

カレッジ型シニア創設記念シンポジウム

長は、「高齢社会におけるカレッジ型シニアの社会的意義」として記念講演をされた。野田氏は記念講演で、大々シニアについて触れ、大学も文部省七十年として再発することの調した。

キャンパスで世代交流を

そのあと開かれたパネルディスカッション「カレッジ型シニアが高齢者、教育を、そして社会を変える」では、今回の連携事業に参加する村田裕之財団法人社会開発研究センター理事、小中村政廣株式会社代表取締役社長、奥村アキラ教授が加わり、連携事業の具体的な内容を紹介しながら、日本初となるカレッジ型シニア住居の創設事業が、日本の「老人ホーム」や「大学」の何を

政策創造学部開設記念シンポジウム

「東アジアの平和構築」その課題と可能性」を開催

文部科学省への届出を終え、来年度(二〇〇七年度)開設の準備も大きく進んできた。この度、内外に本学部の設置の趣旨と意義を発信する開設記念シンポジウム「東アジアの平和構築」その課題と可能性」を開催した。

このシンポジウムでは、文明論をもふまえた国際関係論、平和構築論の第一人者である「リシス・フクヤマ氏」(「ホプキンス大

多目的広場 来年7月完成へ

起工式を挙

千里山中央体育館東側オープンスペース(仮称)造成工事の起工式が九月二十五日に挙

だウェブサイトも充実させている。受験生からのアクセスも急上昇し、関心の高さがうかがわれる。政策創造学部の特色あるカリキュラムの具体化(キエ)と、とりわけ幅広い政治問題と刷新の経済政策、キャリア教育、導教育、プロフェッショナル英語など、も進んでいる。これら「学びが行われる」学び舎の建設も順調である。千里山駅からのアクセスが便利な第一号舎五号館は、学生の通学環境、キャンパス環境をより安全、快適なものにすると思われ。

受賞

- 社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 工学研究科ソーシャルデザイン専攻M1 清坐 裕貴
- リサーチ学会フェロー 工学研究科V1専攻M1 平家 靖大
- 工学部教授 中井 暉久 (平成十八年三月十四日)
- 工学研究科土木工学専攻M2 清水 俊友
- 工学研究科土木工学専攻M2 高部 修一
- 工学研究科土木工学専攻M2 米森 秀明 (平成十八年六月十八日)
- 社団法人日本熱処理技術協会 平成十七年度 日本熱処理技術協会賞 技術功賞賞 教務センター 山下 直司 (平成十八年六月十日)
- 土木学会関西支部 平成十八年度 土木学会関西支部 年次学術講演会 優秀発表賞 工学部土木工学科四年生 山 (平成十八年九月十八日)
- 全日本手道連盟系東会 第五回秋季東流世界大会 女子団体戦形 優勝 高小幼事室 稲田 有紀 (平成十八年九月十八日)

春学期卒業式・学位(修士・専門職・博士)記授与式 秋学期入学式を挙

九月十九日十時から百周年記念会館ホールで、それに伴い四年以上専門職記授与式を十一時からは春学期卒業が可能となった。今期の学部卒業一特別会議室で学位授与式は百五十人、大学院学位記授与式は百五十人、士記授与式は、また士位記授与者修士・専門時から百周年記念会館第一特別会議室で総合情報学部秋学期入学式を挙行した。期入学生は外国人留学生三人であった。(学長課)

地方教育懇談会 全国で盛会

関西大学と関西大学教育懇談会を開催し、盛会后援会では、本年度も地方開催に終了した。

開催地	出席者	開催日時
宮崎市	宮崎県庁	九月三日(日)
金沢市	福岡県庁	九月五日(火)
津市	津市	九月十日(日)
高松市	高松市	九月十日(日)
高知市	高知市	九月十日(日)
静岡市	静岡市	九月十五日(水)
松江市	松江市	九月十五日(水)
京都市	京都市	九月十五日(水)
広島市	広島市	九月十五日(水)

平成19年度交換派遣留学生

秋募集始まる

出願締切は11月6日

本学学生交換協定大学のうち十七校に一年間留学する学生を次のとおり募集している。募集は春と秋の二回実施しており、英語オマシキシステムにて二回応募することができ、お問い合わせは、国際交流センター事務局(TEL:06-3688-1174)まで、(国際交流センター事務局) (http://www.e-navi.ipcku.kansai-u.ac.jp/home/) 詳細は国際交流センターウェブサイトを参照してください。 (http://www.kansai-u.ac.jp/okkai) お申し込みはオマシキシステムにて二回応募することができ、お問い合わせは、国際交流センター事務局(TEL:06-3688-1174)まで、(国際交流センター事務局) (http://www.e-navi.ipcku.kansai-u.ac.jp/home/) 詳細は国際交流センターウェブサイトを参照してください。

出願期間 七月六日(木)～十一月六日(月)

選考方法 語学試験(筆記・聴解・口頭) 十一月八日(水) 英語は口頭のみ 面接試験(日本語又は受験言語) 十一月十五日(水)

奨学金 関西大学国際交流助成基金第一種奨学金(平成十八年度交換派遣留学生は二十人に給付予定) 欧米・豪州・中南米五十万円アジア 三十万円

秋の人権啓発行事

11月13日(月)に講演会

本校は教職員、学生をはじめすべての大学構成員の人権意識を高め、理解を深める助けとなるよう、さまざま

創設百二十周年を記念して、本学図書館所蔵の大坂画壇の絵画七十点による「大坂画壇の絵画」展を開催する。

内容は第一部木村兼親堂と大坂の文人画(十一月十日から十一月十八日まで)、第二部耳島齋と大坂の戯画(風俗画)(十一月二十日から十二月一日まで)、第三部大坂の長崎派(写生派)(十二月一日から十二月十六日まで)。

大坂画壇の中心的人物である兼親堂とその周辺の文人画家の作品、たとえば返り文、浪花及



関西大学創立百二十周年記念

大坂画壇の絵画

文人画・戯画から長崎派・写生画へ



岡熊嶽「桃山図」(部分)

憲法改正と日本がテーマ

まな活動を行っている。その活動の一つとして、毎年春と秋の二回開催している人権啓発行事がある。本年度秋行事は十一月十三日(月)に左記のとおり開催する。本年度は、日本工業新聞記者、フレンジント、編集者、週刊文春、特派記者として活躍後、その縁を生かし、地道な取材や調査活動を通じて時事、社会、経済、教育問題などについて、国家に対し警鐘を鳴らし続けるフリージャーナリストの高橋貴男氏を講師として招く。

憲法改正がわれわれ国民にどのような影響をもたらすのか、日本はどの方向に進もうとしているのか、流れにただ身を委ねている

講演テーマ
『改憲潮流は人々に何をもたらすか』

講師 ジャーナリスト 高橋 貴男 氏

日時 2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分(千里山キャンパス)

場所 千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室 高槻キャンパス 教室棟D106教室(映像中継)

瀨川沿岸名勝図巻、や岡田 涼園)などの淀川沿岸を描いた素晴らしい絵巻物、また中井藍江筆「横橋群像」など、欧米では高く評価されている大坂の絵画の魅力を、これまでに日本美術史において十分に評価されなかった絵画である

本学図書館所蔵の大坂画壇の絵画は、これまで日本美術史において十分に評価されなかった絵画である

本学図書館所蔵の大坂画壇の絵画は、これまで日本美術史において十分に評価されなかった絵画である

本学図書館所蔵の大坂画壇の絵画は、これまで日本美術史において十分に評価されなかった絵画である

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

そのことを自分自身の問題として捉え、考える時間を共有できることを心より期待している。

講演の内容は、事前に各開する予定である。

私たちが一人ひとりが、自

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

高橋 貴男 氏

2006年11月13日(月) 14時40分～16時10分

千里山キャンパス 尚文館 マルチメディアAV大教室

課外活動行事予定

10月13日~11月28日

- | | |
|--|---|
| 卓球部
第73回全日本学生卓球選手権大会
10/13(金)~15(日)
尼崎市記念公園総合体育館
第4回関西学生連地交流卓球大会
11/23(木・祝)
枚方市・松下電器体育館
第2部 クラシックギター部
秋の独奏会
10/13(金)
千里山キャンパス 有鄰館1階多目的ホール
サッカー部
関西学生サッカーリーグ第3部
10/14(土)
京都府立山城総合運動公園太陽が丘陸上競技場
アメリカンフットボール部
関西学生アメリカンフットボールリーグ
10/15(日)~11/25(土)
神戸市立王子スタジアム
E X P O F L A S H F I E L D
柔道部
大阪府下柔道大会
10/15(日)
講道館大阪
女子バレーボール部
秋季リーグ戦
10/15(日)~29(日)
本学、大阪教育大学 他
陸上競技部
第83回関西大学・法政大学陸上競技定期戦
10/15(日)
堺市・金岡陸上競技場
第43回関西学生学年別選手権大会
10/17(火)~20(金)
大阪市・長居第二陸上競技場
第31回関西私立四大学対校陸上競技大会
10/29(日)
豊中市・服部緑地公園内服部陸上競技場
第68回関西学生対校駅伝競技大会
11/18(土)
琵琶湖コース
第2部 軽音楽部
10月定期ライブ
10/18(水)・19(木)
千里山キャンパス 有鄰館1階多目的ホール
学外ライブ
11/23(木・祝)
難波ロケット
演劇研究部「学園座」
秋公演
10/20(金)~22(日)
千里山キャンパス 凜風館4階小ホール
空手道部
第29回関西立戦
10/21(土)
関西学院大学上ヶ原キャンパス
第50回全日本大学空手道選手権大会
11/25(土)・26(日)
日本武道館
第25回全国空手道選手権大会
11/27(月)
慶応義塾大学
アーチェリー部
第44回関西学生アーチェリー新人戦
10/22(日)
会場未定
対立命館大学定期戦
10/29(日)
立命館大学
重量部
第51回全日本学生ウエイトリフティング
新人選手権大会
10/22(日)・23(月)
神奈川県・磯子スポーツセンター
吟詩部
平成18年度学内吟詠発表大会
10/22(日)
千里山キャンパス K.Uシンフォニーホール
混声合唱団「ひびき」
千里山ミュージックキャンパス
10/25(水)~28(土)
千里山キャンパス | 航空部
関西立グライダー競技会
10/27(金)~11/3(金・祝)
東海・関西グライダー競技会
11/3(金・祝)~12(日)
岐阜県・本智川滑空場
テニス部
関西学生新進テニストーナメント<予選>
10/28(土)~11/8(水)
各大学
関西学生新進テニストーナメント<本選>
11/17(金)~23(木・祝)
万博テニスガーデン
器械体操部
明関対抗体操競技定期戦
10/29(日)
天六キャンパス 体育館
剣道部
第54回全日本学生剣道優勝大会
10/29(日)
大阪市中央体育館
第25回全日本女子学生剣道優勝大会
11/12(日)
愛知県武蔵館
第19回関西学生剣道新人大会
11/23(木・祝)
近畿大学記念会館
射撃部
第53回全日本学生ライフル射撃選手権大会
11/1(水)~5(日)
埼玉県・長静射撃場
第31回全関西学生ライフル射撃新人戦
第31回全関西学生ライフル射撃不朽戦
11/11(土)・12(日)
和歌山海南射撃場
馬術部
第56回全日本学生賞典障害飛越競技
11/1(水)・2(木)
第49回全日本学生賞典馬場馬術競技
11/3(金・祝)
第49回全日本学生賞典総合馬術競技
11/4(土)・5(日)
東京都・J.R.A馬事公苑
ヨット部
全日本学生ヨット選手権大会
11/3(金・祝)~5(日)
福岡県・小戸ヨットハーバー
相撲部
第84回全学生相撲選手権大会
11/4(土)・5(日)
東京都・両国国技館
囲碁部
秋季関西リーグ
11月初旬予定
アルプス江坂
落語大学
千里寄席
11/9(木)~11(土)
千里山キャンパス 第2学舎A41教室
女子ハンドボール部
高松宮記念杯女子第42回平成18年度全日
本学生ハンドボール選手権大会
11/16(木)~20(月)
会場未定
邦楽部
劇部60周年記念定期演奏会
(第47回楽奏の夕)
11/19(日)
吹田メインシアター 中ホール
バドミントン部
関西学生バドミントン新人戦大会
11/21(火)・22(水)・27(月)
大阪市中央体育館
学外発表会
11/24(金)
大阪府立森宮青少年会館
拳法部
第51回全日本学生選手権大会
11/26(日)
大阪府立体育館 |
|--|---|

学園祭の日程決まる



120
ひとつのわ

11月9日(木)〜12日(日)に開催

今年の統一学園の日程が十一月九日(木)から十二日(日)に決まりました。テーマは「ひとつのわ」。今年も創設百二十周年の節目を迎え、ひととわ(輪)で百二十という歴史を築き、その伝統を過去から現在、そして未来へと紡ぎ繋げて、さらなる高みにある「ひとつのわ」を形成していくこと、重みを感じ取ってもらいたいという思いから命名されました。今年の見どころは、学生生活課による「ひとつのわ」の学生生活(学生生活課)

関西大学第一部学生会費の取り扱いについて

四年前から事実上崩壊し、四年間から事実上崩壊し、再建の見通しが立たなくなったまま今日に至っております。学生会費に閉じ込められては、当時の学生会費執行委員が事務引継ぎ者であった学生から大学側へ、昭和四十年三月二十五日付の函件を提出し、財源管理し、歴代の学長名義で、次期学生会費執行委員会を代表する機関が成り立するまでの間、関西大学第一部学生会費管理会長の職務を代行し、昭和四十六年以前に名義で学生会費を管理していた状態が続いている限り、資産の有効活用を図ることができません。また、二億六千万円を超える多額の預かり資産を大学会計の枠外(簿外)で長期間放置しておくと、財産管理上も好ましくありません。

昭和四十六年以前に名義で学生会費を管理していた状態が続いている限り、資産の有効活用を図ることができません。また、二億六千万円を超える多額の預かり資産を大学会計の枠外(簿外)で長期間放置しておくと、財産管理上も好ましくありません。

大学の措置

平成十八年九月十三日開催の理事会において、学内関係機関との検

で学生会費を管理してきました。この間、大学がそれまで代理徴収していた学生会費を、昭和四十六年度後期から取り止めることになりました。このような経緯を経て、学生会費の預かり資産は当初(昭和四十六年九月三十日現在)の八千三百四十五千二百一十一円に預金残高が加わり、二億六千六百九十一万三千六百九十九円になりました。

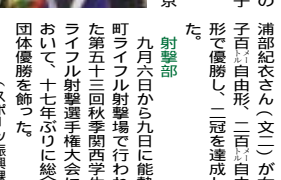
入、長年の懸案であった本物件を解決するため、法律上の見地から専門家の意見を徴するとともに、他大学の事例等も参考に、この結論に至りました。具体的には、平成十七年度決算で第三号基本金の「奨学基金」に、学生会費(二億六千六百九十九万三千六百九十九円)を繰り入れ、積み増すことといたしました。

平成十八年九月十三日開催の理事会において、学内関係機関との検

飛躍

レズリング部

八月二十一日、九月一日にコアテラで開催された「2006レズリング世界ジュニア選手権大会」において、女子部が優勝した。



(スポーツ振興課) (写真提供: 関大スポーツ振興課)

射撃部

九月六日から九日に能勢町ライフル射撃場で行われた第51回秋学期関西学生ライフル射撃選手権大会において、十七年ぶりに総合団体優勝を飾った。

九月六日から九日に能勢町ライフル射撃場で行われた第51回秋学期関西学生ライフル射撃選手権大会において、十七年ぶりに総合団体優勝を飾った。

薬物の服用による転落死に事故について

本年七月十一日、本学生がクラブ室内で本学生がから入手した茶色の粉末を服用後、異常な行動をとり、近隣のマンションから転落し死亡するという事故が発生しました。警察の調査結果によると、茶色の粉末は「麻薬及び向精神薬取締法」では規制対象とはなしていませんが、それらに類似した幻覚、興奮作用を有する薬物であるとのことでありました。本学では、直ちに事実経過を把握すべく調査を進め、事件発生後(十二日)の夕刻にマスコミに対する記者会見を行いました。副学長から事件の経過

が、その後の対応については報告するとともに、学長である私は亡くなった学生の御冥途にお悔み申し上げます。また、本学生センターでは、七月二十六日、大阪府健康福祉部業務課の西村章氏を講師として招き、啓発行事「薬物乱用防止に関する講演会」を実施しました。講演会には、本学の課外活動団体の代表の学生も参加し、学生生活課は、その一堂に集った学生に対して、安易に署名したり、相手に住所や電話番号を教えないことや電話通話を控えることや、個人情報の保護に心がけてください。また、キャンパス内でのような活動を受けたい記者会見を行いました。一方、茶色の粉末を渡している者を見かけた場合は、学生生活課へ直ちに連絡してください。

(学生生活課)

(学生生活課)

関大通信 第338号

平成18年(2006年)10月13日
大阪府吹田市山手町3 3 35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は11月29日発行の予定です

弓道 セルヒオ・エレガ・メルカドさん FROMメキシコ

入部すれば誰でも初めからの向かって弓を放ると思っています。留学してきてすぐに弓道部に入りました。しかし、いざ入部してみると、的の前に立てるようになるまでにも修行がありました。私は今、その修行の真っ最中です。一日でも早く的に向かえるように、ほとんど毎日一生懸命練習しています。弓道をしていて一番気持ちいい瞬間は、的に当たったときのドキ



ドキする瞬間ですが、私は弓を射る時の集中力が最高に高まる瞬間も好きです。
礼儀や上下関係を重んじる弓道では、厳しいと感じることもたくさんあります。しかし、辛いことや厳しいことであっても、それが修行になるのなら、どんなこともやってみたいし、いろんな経験を通してもっと深く日本を知りたいと感じています。それに厳しい練習も仲間と一緒に頑張ることが出来ます。弓道部のみんなはとても優しく、いつもニコニコしながら話しかけてくれます。今は弓道に夢中ですが、東京タワーを見たいとか雪に触れてみたいとか、日本に滞在している間に仲間たちと行ってみたいところやしてみたいことがたくさんあります。これからも日本の素晴らしさを体感したいです。

厳しい練習も仲間と一緒に頑張れる

重量挙げ ベン・オーバークンプさん FROMアメリカ

僕は、アメリカのミズーリ州セントルイスにあるウェプスター大学から来ました。アメリカでは、大学に重量挙げ部がなかったため、セントルイスの隣にあるカーウッドの重量挙げクラブに所属していました。そのクラブの主なメンバーは中・高校生で、24歳の僕が最年長者という幅広い年齢構成だったため、メンバーの目標はまちまちでした。関西大学の重量挙げ部では、メンバー全員が各大会で優勝するというひとつの目標に向かって努力していたため非常に結束力が高く、この1年間で大切なフレンドシップを築くことができたと思っています。
僕は関西大学に留学しようと思った



きっかけは、2004年の世界学生重量挙げ選手権大会で3位に入賞した後の冬に、関西大学の交換留学制度を知ったことです。日本の大学、とりわけ関西大学に留学を希望した理由は3つあります。まずひとつは、重量挙げに関してアメリカよりも日本での人気が高いため切磋琢磨できる環境が整っていること、2つ目は、ウェプスター大学で昨年から設置された日本語の授業を履修しており、日本語を上達させたかったこと、3つ目は、日本文化に興味があり、京都や神戸へのアクセスが便利で大阪にある関西大学で学びたかったことです。
しかし、留学には多額の費用が必要なので、留学の夢は実現できないだろうと思っていました。それでも諦めず所有していた自動車やパソコンなどを売り、何とか留学の資金を工面し、やっとの思いで留学することができ大変良かったと思っています。社会人になって世界重量挙げ選手権大会に出場し優勝する夢をかねるために、これからも頑張ります。

整った環境の中、仲間と切磋琢磨

陸上 トム・ルアー・ジュンさん FROMベルギー

ベルギー最古の大学であるルーヴェン・カトリック大学から、交換派遣留学で関西大学に来たトムです。
ルーヴェン・カトリック大学では、第2外国語としてフランス語



やオランダ語を専攻する学生が多いのですが、僕は日本語を専攻しました。理由は2つあり、まず漢字の持つ美しさに魅了されたこと、次に将来在ベルギー-日本企業に就職したときにビジネスとして支障のないように日本語を勉強したいと考えたからです。
関西大学では、陸上部に所属しました。12歳から中距離である800メートル走を専門種目とし、18歳からはトライアスロンに取り組みようになりました。関西大学の陸上部に入部したのもトライアスロンの練習の一環です。
巡礼で有名な四国88カ所を自転車で巡ったことは、一番の思い出です。僕が好きな仏教に関する実地調査とトライアスロン出場に向けた自転車の練習の両方を兼ねることができました。その旅行中、日本人の友人も数人できました。
先日200キロメートルある琵琶湖を一日かけて自転車で一周しました。そのような行動に、同じ留学生の友人は驚くと同時に敬意を表してくれているようです。
帰国後は、2年間経済学を勉強した後に、日本では釣具で有名なシマノのベルギー支社に就職したいと考えています。シマノは自転車の部品メーカーでもあり、趣味と実益を兼ねることができるからです。将来的にはトライアスロンの世界選手権の1つであるアイアンマンに出場することが夢です。

めざすはトライアスロン世界選手権出場



日本拳法 クリス・タチバナさん FROMアメリカ

日本で過ごしたこの1年間、私は日本拳法を通して、これからの人生においてかけがえのない精神を学びました。それは、心の強さです。自分より小柄の日本人が、負けて分かっていても躊躇なく立ち向かってきたとき、その純粋さと力強さに驚きました。「どうして負けるにわかっていても戦えるのか」と聞くと、「自分を強くしたいから」とすぐに答えが返ってきました。
はじめは友達を思いっきり殴るといふことのために私があった私ですが、自分を強くしたいという自分自身の気持ちを絶対に裏切らない仲間たちのまっすぐな姿勢を、だんだんと理解できるようになりました。技を磨き、強くなるためには、真正面からぶつかり合える相手が必要です。いくら面と胴を着けていても、本気でぶつかり合えばあざができるほどの痛みを伴うのは当然のことです。しかし、相手と一緒に強くになりたいという思いがあるからこそ、お互い手加減など一切せずに150%の力で相手を殴るのです。相手を尊敬し、相手と一緒に強くなりたいという友情。心の強い人はまた、優しくもあるのだと感じました。
帰国しても、日本で学んだ純粋で強く優しい心を忘れずいようと思います。



クリスさん左

少林寺拳法 スペンサー・ブレンドンさん FROMアメリカ

せっかく日本に来たのだから、今まで経験したことがないスポーツを始めようと思ったところ、私が生活している学生寮の友達で少林寺拳法部を紹介してくれたので、すぐに入部しました。
寮での生活でも部活動でも感じたのは、日本人の謙虚さと規律の正しさです。きちんと挨拶をし、決して威張らないし、物でも場所でもまずは譲り合います。日本人にとっては当たり前のことかもしれませんが、当たり前のように行われる会話に、驚いたことが何度もあります。
少林寺拳法では、無駄のない動きをめざすことで気持ちがシャキッとします。日本語がまだあまり話せないときから、私がわかるまでゆっくりと教えてくれた仲間には、上達する度に「みんなのおかげ」という気持ちで自然と湧いてきました。
日本に来るまで私にとって日本のイメージは、日本の経済にみるような物理的な豊かさでした。しかし、日本で一年間生活してみると、その側面だけではなく、人から伝わってくる精神的な豊かさを強く感じます。帰国したら、4歳の弟にも少林寺拳法を教えようと思いにしています。

学んだ純粋な強く優しい心

落語 ティル・ワインガ・トナーさん FROMドイツ

僕は、ベルリン自由大学日本学科の博士課程に所属し、今年の4月から関西大学大学院社会学研究科マス・コミュニケーション学専攻の研究生となりました。落語大学に「入学」したきっかけは、以前から日本のお笑いを研究していたのですが、落語に使われるような古い日本語が理解できなかつたため、落語に触れることで理解が深まると思ったからです。
落語大学では、関大亭老松(かんだいてい・おいらまつ)という芸名をいただきました。写真は部長から芸名をいただいたときのものです。落語大学は毎年ライブを行い、落語やコントなどを披露しています。今年、僕は20人弱で演じたコントに参加し、「友達5」という役で、初めて舞台上に立ちました。その時のセリフは「くるぶし打撲」など、セリフ自体はナンセンスそのものでしたが、観客から大きな笑いを得ることができました。
在学中に漫才にも取り組んでみたいと時々思っており、ようやく相手を見つけたところです。好きな芸人は、夢路いとし・喜味こいしさんなどのベテランから品川庄司さんのような若手まで幅広く、いとこ・こいしさんの漫才もおもしろいです。
現在は、木村洋二社会学部教授のサポートを受け、お笑い関係の会合への参加や、自分の研究発表を通して、お笑いの人的ネットワークを広げています。僕の研究成果としては、ベルリン自由大学での修士論文を本国ドイツで出版する予定です。出版されれば、欧米では初めて日本の漫才に関する研究書が世に出ることになります。今後2年間で、ベルリン自由大学に提出する博士論文を完成させ、修士論文と同様、出版し、海外に日本のお笑いを伝えていきたいと思っています。
関心のある人は僕のブログを参照してください。



落語者

海外に日本のお笑いを伝えていきたい

後ますます重要となるであろう。(堀 雅洋)

編集後記
急速な少子高齢化が進むなか、大学は地域への関わりと貢献が求められている。本学においても、産学連携、高大連携、公開講座、学生ボランティアなどさまざまな取り組みが実施されている。さらに、地域コミュニケーションと教育プログラムを連携させ、我が国初のシニア住宅の試みも発表された。